**第２章　アセットマネジメントの実施方針**

1. アセットマネジメントの目的

水道事業を持続可能なものとするために、中長期的な視点に立って、技術的な知見に基づいた施設整備・更新需要の見通しについて検討し、着実な更新投資を行う必要がある。そこで、「水道事業におけるアセットマネジメント（資産管理）に関する手引き」に基づき、現有資産の状態・健全度を適切に診断・評価し、中長期の更新需要見通しを検討するとともに、財政収支見通しを踏まえた更新財源の確保方策の検討を行う。

1. アセットマネジメントの検討手順

厚生労働省の手引きに沿ってマクロマネジメント（中長期更新需要及び財政収支見通し）を作成し、現状の資産管理水準を把握するとともに、今後の改善方策を抽出し、レベルアップのための基本方針を検討する。以下の実施フローに基づきアセットマネジメントの検討を行う。

**財源収支見通し（財源確保）**

**収支ギャップの解消**

**（更新需要と財政条件を複数設定し収支のギャップが解消できるシナリオを設定する）**

**投資**

**財政**

**固定資産台帳の整理（資産の把握）**

**重要度・優先度に応じた**

**更新時期（耐用年数）の検討**

**耐震化事業を含めた**

**更新需要の平準化の検討**

**妥当性の確認**